



グローバル・ロジスティック・プロパティーズ（GLP、帖佐義之社長）は2日、千葉県柏市でセミマルチテナント型の先進的物流施設「GLP柏II」（完成イメージ）の建設に着手し、現地で起工式を行った。建物は延べ3.2万平方㍍の規模。設計・施工はJFEシビル・福田組が担当。17年1月末の竣工を目指す。

建設地は柏市沼南中央土地区画整理事業地内20街区9の1、2、4（敷地面積1万7440平方㍍）41平方㍍の規模。マル

した。

建設地は柏市沼南中央

団地内にあるため、24時間の操業が可能だ。建物

階は高照度フロアとし、

帖佐社長は「階高を保管

用と流通加工用に切り分

けることで多岐にわたる

作業をでき、空間をあら

かじめ用意している。そ

の多様性がお客様への

ヒアリングでも好感触を

得ている」と施設の特徴

を説明した。藤井社長は

「設計が従来よりも複雑

なのに加え、敷地の26%

の森林を保護しなければ

ならない制限がある中、

1年の短工期で完成させ

ることで先行した対応に気

付けている」と述べた。

遠藤秀JFEシビル・

福田組特定建設工事共同

クト所長（JFEシビル）

の話

## GLP柏IIが起工

設計・施工＝JFEシビル・福田組▼

### 柏市に3.2万m<sup>2</sup>先進的物流施設

（）常磐自動車道柏インチテナント型ビル・高にバリエーションを持つ神事では、帖佐社長がターチエンジから約11キロトウ・ツーツ型のいずれの地点に位置し、近接する国道16号を利用する）は3カ所のトラックバーカーを設け、南北の2カ所の取り込みを図る。



鍛入れする帖佐社長



鍛入れする藤井社長

「これまでGLPの施設整備にさまざまに協力してきた。今回もGLPの形で協力してきた。今回は作業負担が少ないため、規格化した鉄骨やファブデッキなどの工業製品を使い、省力化に取り組む。社員一同、頑張りたい」。